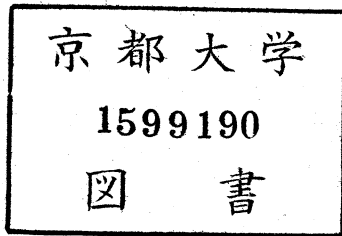


K. 510

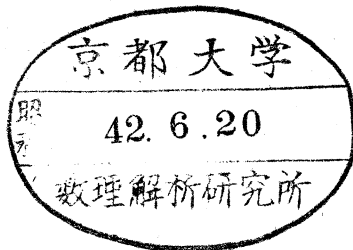
F  
511  
6  
5

数理解析研究所講究録 26

# 倉持型理想境界と解析学

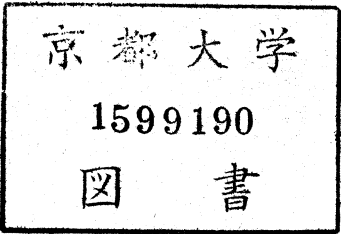


数理解析研究所



京都大学数理解析研究所

1967年5月



倉持型理想境界と解析学  
—短期共同研究「倉持境界と Brown 運動」報告集—  
数理解析研究所

1966年12月19日~24日

目 次

- A 有界領域における反射壁 Brownian motion の構成  
東京教育大 理 福 島 正 俊 ..... 1
- B Resolvent にもとづく領域の完備化について  
阪 大 理 渡 辺 毅 .....28
- C Riemann 空間の倉持境界  
東 大 理 伊 藤 清 三 .....46
- D Full-harmonic Structures on a Green space (Abstract)  
広 大 理 前 田 文 之 .....75
- E Markoff chain の境界問題への試み  
広 大 理 青 木 一 芳 .....87

はじめに

この報告集は、昨年12月におこなわれた短期共同研究「倉持境界とBrown運動」のセミナーにおける参加者の報告をまとめたものである。最近になって一部の人の間で、倉持氏が関数論・ポテンシャル論の研究において導入した倉持境界の一般化あるいはその類似物が解析の種々の分野で重要な役割をはたすことが認識されるようになり、研究会にも関数論、偏微分方程式、確率論の各分野から参加した。研究会は、当初本集の福島氏の研究発表を中心に企画されたため名称もそれにあわせてたが、この報告集の性格をあらわすのに必ずしも適当でないと思われたので、少し大げさであるがタイトルを表記のように変更した。